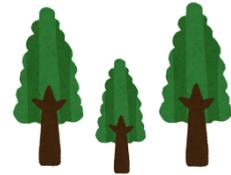


コープかがわ店舗共配センター(旧名称:生産センター)に

太陽光発電設備と蓄電池を設置しました

今年 1 月に店舗共配センターの屋上に太陽光発電設備と蓄電池を設置しました。この太陽光発電によって店舗共配センター年間使用電気量の約 23%が賄われることになり、発電によるCO2削減量は40.1トンになります。

これは、50年生の杉の木（直径26cm、高さ22m）約2,800本が1年間で吸収するCO2の量に相当します。



また、蓄電池の導入で、太陽光発電設備からの余剰電力を蓄電池に蓄え、平常時には電気代削減効果を、災害時にはパソコン・携帯電話の充電等、BCP対策として活用が可能です。



これからも持続可能な社会の実現に向け、SDGsへの積極的な取り組みを行っていきます。

今回の事業は、「令和5年度（補正予算）二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金」を活用しています。

【所在地】 コープかがわ 店舗共配センター

高松市郷東町字乾新開 796-189

【発電容量】 88.32kwkW(DC)

【蓄電池容量】 15.36kWh

【想定自家消費量(初年度)】 91,590kWh/年